

2025年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業

よどきり訪問看護ステーション 小川真里子

目標の設定

- ACP研修を実施し、
地域での多職種協働によるACP定着を促進する。
- 訪問看護サービスに質向上のための
研修事業を実施する。
- さまざまな分野の専門性の高い看護師による
コンサルテーションを通して、人材育成に寄与する。

The background features a series of concentric circles in light gray, some solid and some dashed, creating a ripple effect. In the center, there is a large orange speech bubble with a pointed bottom. Inside the bubble, the text '研修事業' is written in white.

研修事業

ACP支援実践人材育成研修

7月12日 淀川キリスト教病院 講義室
参加者 46名

8月23日 淀川キリスト教病院 講義室
参加者 57名



対面研修

コグニサイズとは国立長寿医療研究センターが開発した運動と認知課題（計算、しりとりなど）を組み合わせた、認知症予防を目的とした取り組みの総称を表した造語です。

コグニサイズの実施は認知機能の低下を抑制するといわれています。

参加者：41名

協力：牧訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師
八津川栄子

2025年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション実践研修事業

コグニサイズとは国立長寿医療研究センターが開発した運動と認知課題（計算、しりとりなど）を組み合わせた、認知症予防を目的とした取り組みです。英語のcognition（認知）とexercise（運動）を組み合わせてcognicise（コグニサイズ）と言います。[※]
今回は、訪問看護のケアの中で 活用できるコグニサイズの知識と実践を学んでいただければと思います。
楽しくアタマとカラダを使うリハビリのスキルを知り、『認知症の進行予防』のケアにつないでいただければ幸いです！！

※：引用：国立長寿医療研究センターHP（<https://www.ncgg.go.jp/hospital/kenshu/>）

訪問看護で活用できる コグニサイズを学ぼう



講師紹介 山下修平氏

理学療法士 合同会社HAJIMARU代表
国立長寿医療研究センター主催
コグニサイズ指導者研修受講
急性期から在宅まで幅広い経験をもつ

開催日時 2025年10月28日(火)
12:30-13:30
場所 牧訪問看護ステーション3階会議室
対面のみ
参加者 訪問看護師 & PT OT ST 等
定員 40名程度

お申し込みは
こちら



主催 よどきり訪問看護ステーション（市北ブロック教育ステーション）
協力 牧訪問看護ステーション

ハイブリッド研修

看護は感情労働といわれており、コミュニケーションにおいて自己を知ることが重要です。

2024年度に行った感情マネジメント研修が好評であったため、パート2として継続しました。

参加者 対面：24名
ZOOM：32名

協力：牧訪問看護ステーション 訪問看護認定看護師
八津川栄子

訪問看護師の感情マネジメント ～イライラ解消セミナー～



私たちは肉体だけでなく感情労働でココロも疲れています
一生懸命やっても クレーム、カスハラ、パワハラ等で
自分自身が くたくたになっていませんか
去年に引き継ぎ感情マネジメント研修の第3弾目です

お昼休みに開催しますので、ランチのおともにいかがでしょう
今回はハイブリットなので、どこからでも受講できます

自分の心のための研修もたまには必要です

日 時 2025年11月11日(火)
12:30-13:30

講 師 接遇コンサルタント 茨木貴子氏

研修方法 対面&ZOOM
(対面:定員40名)

場 所 牧訪問看護ステーション
3階会議室

お申し込みはこちら ➡



ハイブリッド研修

計画書や報告書等の文書作成の困りごとを現場の実務に沿った形での共有を行うことで、参加者が解決策を見い出せるようになることを目指しました。

参加者 対面：16名
ZOOM：29名

協力：サンルーム訪問看護ステーション 室 静香
なないろ訪問看護ステーション 長谷川泰子

大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業
主催 よどき訪問看護ステーション
協力 サンルーム訪問看護ステーション
なないろ訪問看護ステーション

「看護を語ろう」研修 記録の悩みを解消！ 実務に直結する書類作成について

訪問看護の現場での報告書・計画書・GAF 採点の「なぜ?」「どうすれば?」を徹底解説！悩みや困りごとを解消するための研修です。



講義と話し合いを通じて、必要な知識を学び直します。
一緒に書類作成の具体的な解決策を見つけましょう。
ハイブリッドで行いますので、会場までお越しになれない方々は、ステーションのみなさん同士で語り合う機会にしてみませんか。

参加費
無料

日時：2026年1月7日(水) 18:00～19:00

講師：徳留伸治氏（訪問看護ステーションみらあ 管理者）

テーマ：訪問看護記録について（報告書・計画書・GAF 採点方法を含む）

対象者：訪問看護ステーションの看護師、療法士など

定員：対面 35名 / オンライン定員なし

場所：【対面】なないろ訪問看護ステーション

大阪市都島区都島本通 4-22-9 なないろビルディング

【オンライン】お申込み後 URL をご連絡

お申し込みはこちら



申込方法：QR コード

締切：2025年12月26日(金) 12:00 まで

問合せ先：よどき訪問看護ステーション小川

TEL 06-6324-6548



研修事業

結果と課題

- 「ACP支援実践人材育成」や「認知症予防（コグニサイズ）」といった、現場でのアウトプットが明確なテーマについては目標をほぼ達成した。これは、**専門職として、明日からの業務に直結する知識を求める学習ニーズに合っていた**と考える。
- ハイブリッド研修におけるオンライン配信（ZOOM）においても目標をほぼ達成し、**場所を選ばない学習機会の提供は一定の成果がある**と確認できた。
- アンケート結果から、研修への満足度は高かった。**
- 課題** 対面受講の目標人数を下回る結果もみられた。これは、多忙な現場において現地に赴くことの優先順位が上がりにくい要因があったのではないかと推察する。学習ニーズに応じたテーマ、そのテーマと内容に応じた最適な開催形態を選択することが重要と考える。

The background features a series of concentric circles in light gray, some solid and some dashed, creating a ripple effect. In the center, there is a large orange speech bubble with a white border. The text is written in white within this bubble.

府民への相談支援事業

- 株式会社yodomachi 認定看護師の会により、「訪問看護の利用促進」をテーマとしたチラシを作成

【チラシ表】

2025年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業 府民への相談支援事業
市北ブロック教育ステーション よどき訪問看護ステーション
協力 株式会社yodomachi 認定看護師の会

おうちで、安心できる毎日を。 ご自宅での体調不安はありませんか？

ひとつでも当てはまる項目はありますか？ 私たちがお手伝いします。

食事にかかわること

- ・食事中にむせたり、のどに詰まりそうになることがある
- ・食後に痰が絡んだり、咳が出たりする
- ・誤嚥性肺炎と言われたことがある
- ・医療機関で水分不足や脱水気味と言われたことがある
- ・普段と比べて食事の量が減っている

排泄にかかわること

- ・便がスッキリ出ない（お腹が張る、便が硬い）
- ・便が柔らかい上に回数が多い
- ・尿がスッキリ出ない

清潔にかかわること

- ・体調がすぐれず、入浴やシャワーを負担に感じている
- ・体調がすぐれず、歯磨きや口の中の清潔を保てない
- ・同じ服を着ていたり、後ろ前に着ていたりしている

体調にかかわること

- ・体の調子が悪くなっている
- ・微熱がよく出る
- ・1年に1回以上、入院している

活動にかかわること

- ・歩くときに、壁や手すりをつたって移動する機会が増えた
- ・転倒しやすい

薬にかかわること

- ・薬の飲み方や薬の使い方がわからない
- ・受診日にお薬があまっている
- ・受診日までにお薬が足りなくなる

生活や心の負担、介護の気がかり

- ・物忘れが増えてきた
- ・同じことを何度も聞く
- ・今まで出来ていたことができなくなっている
- ・できるだけ入院せず、自宅で生活したい
- ・今後の療養生活と日々の生活について不安を感じている
- ・これからどのように過ごしていけばよいかわからない
- ・家族の気持ちに余裕が無くなっている
- ・介護を続けていく自信がない

まずは、訪問看護にご相談ください

【チラシ裏】

訪問看護 は、ご自宅で、あなたの 「ありがたい姿（生活の願い）」 をサポートする専門家です

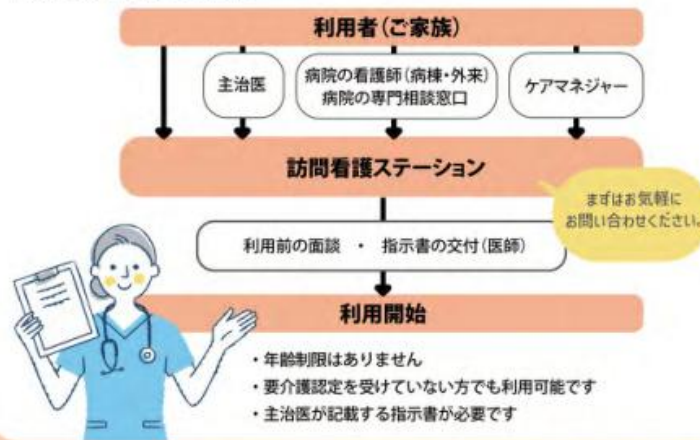
『やりたいこと』を諦めないための支援；お散歩やお料理など、あなたらしい生活目標を、病気があっても安全に達成する方法と一緒に見つけます。



訪問看護の内容

- ・病状・健康状態のチェック
（例：血圧、脈拍、酸素の取り込み、体温等、病気に合わせて体調変化の早期発見）
- ・医療的ケア（例：酸素、注射、点滴、チューブ類の管理、床ずれ等の傷のケア）
- ・療養上の困りごとへのケア（例：食事、入浴、排泄等）
- ・リハビリテーション
- ・ご家族への支援・相談（介護方法の指導、精神的なサポート）

訪問看護開始までの流れ



困ったときは1人で悩まず、訪問看護のご利用をご検討ください。

- ✓ まずは私たちにご相談ください！
ケアマネジャーがいなくても、直接、訪問看護ステーションにご連絡いただけます。
- ✓ ご紹介いただく場合
病院やかかりつけの主治医、ケアマネジャーに、このパンフレットをご提示いただき、ご相談ください。

- 株式会社yodomachi 認定看護師の会により、「訪問看護とACP」をテーマとしたチラシを作成

【チラシ表】

2025年度 大阪府訪問看護実践研修事業 教育ステーション事業 府民への相談支援事業
市北ブロック教育ステーション よどき訪問看護ステーション
協力 株式会社yodomachi 認定看護師の会

病気になっても あなたの大切にしたいことを 続けるために

「あなたの生き方を大切にするために、ご家族や大切な人、医療者と今、話し合いを始めてみませんか？」
暮らしのなかで、あなたの「ありたい姿」をサポートする
訪問看護師に、まずご相談ください。



訪問看護だからできる、今から始める もしものときの話し合い 住み慣れた「自宅」で、あなたのペースで「人生会議サポート」

人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）は、「あなたがどう生きたいか」を前もって考え、大切な人たちと話し合い、共有する活動です。これは「人生をよりよく生きるために、治療や療養に関することを自分で選んで決めていく」大切なプロセスです。

訪問看護では、住み慣れたご自宅で、あなた自身のペースに合わせて、人生や価値観に焦点を当てた話し合いを始めるお手伝いができます。あなたの気持ちに変化しても、訪問看護師が主治医やケアマネジャーと連携し、あなたの希望を医療・介護の計画に反映し続けるよう、見守り、働きかけます。

～ 知っておきたい、大切なこと ～

変わっても大丈夫！
あなたの気持ちは、病状や体の変化によって変わるものです。一度決めたことであっても、いつでも見直して大丈夫。気持ちが変わるたびに、またみんなで話し合いましょう。

安定しているときが始めどき！
始める時期に決まりはありませんが、安定しているうちから始めるのが一番です。「もしも」の時が急に来ても、あなたの気持ちが大切な人、医療や介護のチームに伝わっていれば、あなたにとっての医療やケアに反映することができます。

一人で悩まないで！
「これからの治療や療養をどうやって選んだらよいのだろう？」など、一人では決めることが難しいこともあります。あなたの考えがまとまっていなくても大丈夫です。病気と暮らしの専門家である訪問看護師が、あなたの考えを整理するお手伝いを一緒にします。

【チラシ裏】

訪問看護は最期まであなたが選んだ生きる道に伴走します。

伴走の具体的な方法

あなたのペースですすめる3つのステップ！
いつでも、何度でも、くり返し、話し合います。



ステップ1: 考えてみましょう

♥ あなたが大切にしたいことは何ですか？
「趣味を続けたい」「家族と一緒にいたい」など、あなたの好きなことや希望をぼんやりでもいいので思い浮かべてみましょう。

- *あなたにとって心地よく過ごせるのは、どんなときですか？
- *あなたの大切な人に負担や迷いはありませんか？
- *もしものときの医療やケア、希望する範囲はありますか？
- *あなたが自分の気持ちを伝えられなくなったとき、誰に決断を託しますか？

ステップ2: 話してみよう

あなたの想いを話し合う相手として、ご家族や大切な人に、まずは身近な会話から始めてみましょう。ご家族や大切な人との話し合いがすすむよう、必要なときに、いつでも、訪問看護師がお手伝いします。

ステップ3: あなたの想いを「かたち」に残しましょう

ご家族や大切な人と話し合って整理した、あなたの希望や願いは、医療や介護のチームが共有できるように書き残しておきましょう。「わたしの想い手帳」のような冊子も便利です。



訪問看護師は、主治医やケアマネジャーなど専門家への伝え方も一緒に整理し、あなたの希望やケア全体に反映できるように、連携していきます。
あなたの希望と願いを尊重し、最期まで支え続ける訪問看護ステーションをぜひ見つけてください。
病院やかかりつけの主治医、ケアマネジャーに、このパンフレットをご提示いただき、ご相談ください。

府民への相談支援事業

結果と課題

- 東淀川区医師会の会員122箇所に各種5部（計1,220部）を配布した。
- 「訪問看護利用促進」のチラシには具体的なチェックリスト、「訪問看護とACP」のチラシには「気持ちは変わっても大丈夫」というメッセージを提示し、**在宅療養やACPに対する心理的ハードルを下げ、訪問看護師に早期相談を促す効果を期待して作成した。**
- 今後、これらのチラシを携えて相談に来た地域住民に対して、**研修事業「ACP支援」で得られた専門的な知見とスキルを持つ訪問看護師等が相談支援に対応すること、疾患の増悪予防や本人の意向を尊重した質の高い意思決定支援の実現が望まれる。**

訪問看護体験研修事業

協力：牧訪問看護ステーション 高橋陽子
よどきり こども訪問看護ステーション 西海真理

訪問看護体験研修事業

結果

訪問看護に関心のある専門職や看護学生・看護師

- 目標回数 2回 実施回数 3回
- 助産師1名（新規開設を計画中・2か所を各1日）
- 訪問看護師1名（エコーを用いた実践場面への同行）

看護管理者等

- 目標回数 2回 実施回数 2回
- 訪問看護師（主任）1名
- 助産師1名

訪問看護体験研修事業

効果や課題

- エコー等の先進機器を用いた実践場面や小児訪問、管理運営の仕組みを直接体験することで、組織運営や可視化によるケアの質向上への理解が深まったと考えられる。
- 小児訪問看護ステーションの新規開設を計画している受講者に対し、計2回の研修を実施した。研修後、ニーズの再確認を経て研修を追加実施するに至った。指定訪問看護の特性上、医療保険・介護保険双方の理解が不可欠だが、**特定分野（小児等）への特化を希望する受講者に対しては、その専門性に合致した施設選定と、並行して制度全般を学べる構成をより早期に提案すべきであった。**

電話相談事業

協力：訪問看護ステーション・といろ 荒牧鉄男

電話相談事業 結果と課題

- 目標数 20件 **実績 27件**
- **相談先**は、訪問看護ステーション、病院・施設が多かった。
- **相談内容**は実務、指示書についてが多かった。
- **訪問看護の報酬算定や指示書の取り扱い、新規開設時の要件**など、多岐にわたる相談に対応した。現場特有のトラブルに対し、根拠資料に基づいた迅速な回答を行うことで、ステーションの不安解消と適切な事業運営に寄与できたと考える。県外からの相談にも対応しており、広域的な相談窓口として機能した。
- 課題としては、複雑な制度解釈や、要介護度の認定情報把握の遅れや医療機関の事業承継に伴う混乱などといった、**外部要因で算定に支障が出る事例も散見**された。訪問看護の適正運営には、自施設のみならず地域の医療・介護関係者全体への制度周知が不可欠であると認識した。

コンサルテーション事業

協力：訪問看護ステーションルシア 先瀬万里
牧訪問看護ステーション 皮膚排泄ケア認定看護師 高橋陽子
よどきり こども訪問看護ステーション 小児看護専門看護師 西海真理

コンサルテーション事業

結果と課題

対面サポート

- 目標数 6回 実績 4回
- 褥瘡の処置・管理方法、新規開設に伴う運営内容など、現場の臨床課題から運営面まで支援した。

電話サポート

- 目標数 1回 実績 0

課題

- 難治性褥瘡への具体的な処置方針が定まり、スタッフのケアに対する不安が払拭されるなど、直接的なケアの質向上に寄与した。また、新規開設前後の運営課題を対話を通じて整理できた。新規開設の相談者には、今後も制度解釈と実践スキルの両面で継続的なフォローが求められる。

協力ステーション

10か所

- 旭区 牧訪問看護ステーション
- 都島区 リハプロ訪問看護ステーション・都島
サンルーム訪問看護ステーション
- 北区 ユニケア訪問看護ステーション南森町出張所
- 淀川区 訪問看護ステーションルシア
あじさい訪問看護ステーションほのか
- 東淀川区 STY訪問看護ステーション
おかもと訪問看護ステーション東淀川
訪問看護ステーション・という
よどきり こども訪問看護ステーション

The background features a series of concentric circles in light gray, some solid and some dashed, creating a ripple effect. In the center, there is a large orange speech bubble with a white border. Inside the bubble, the text "設定した目標の評価" is written in white.

設定した目標の評価

1. ACP研修を実施し、地域での多職種協働によるACPの定着を促進する。

ACP支援実践人材育成研修では、目標をほぼ達成でき、地域における関心の高さとニーズを実感できた。

特筆すべき成果は、研修に留まらず、認定看護師らが中心となって、府民向けの啓発チラシ（ACP編）を具体化したことである。

これにより、訪問看護師が「病気と暮らしの専門家」として、本人の価値観を尊重しながら主治医やケアマネジャーとの橋渡しを行う役割を提示した。

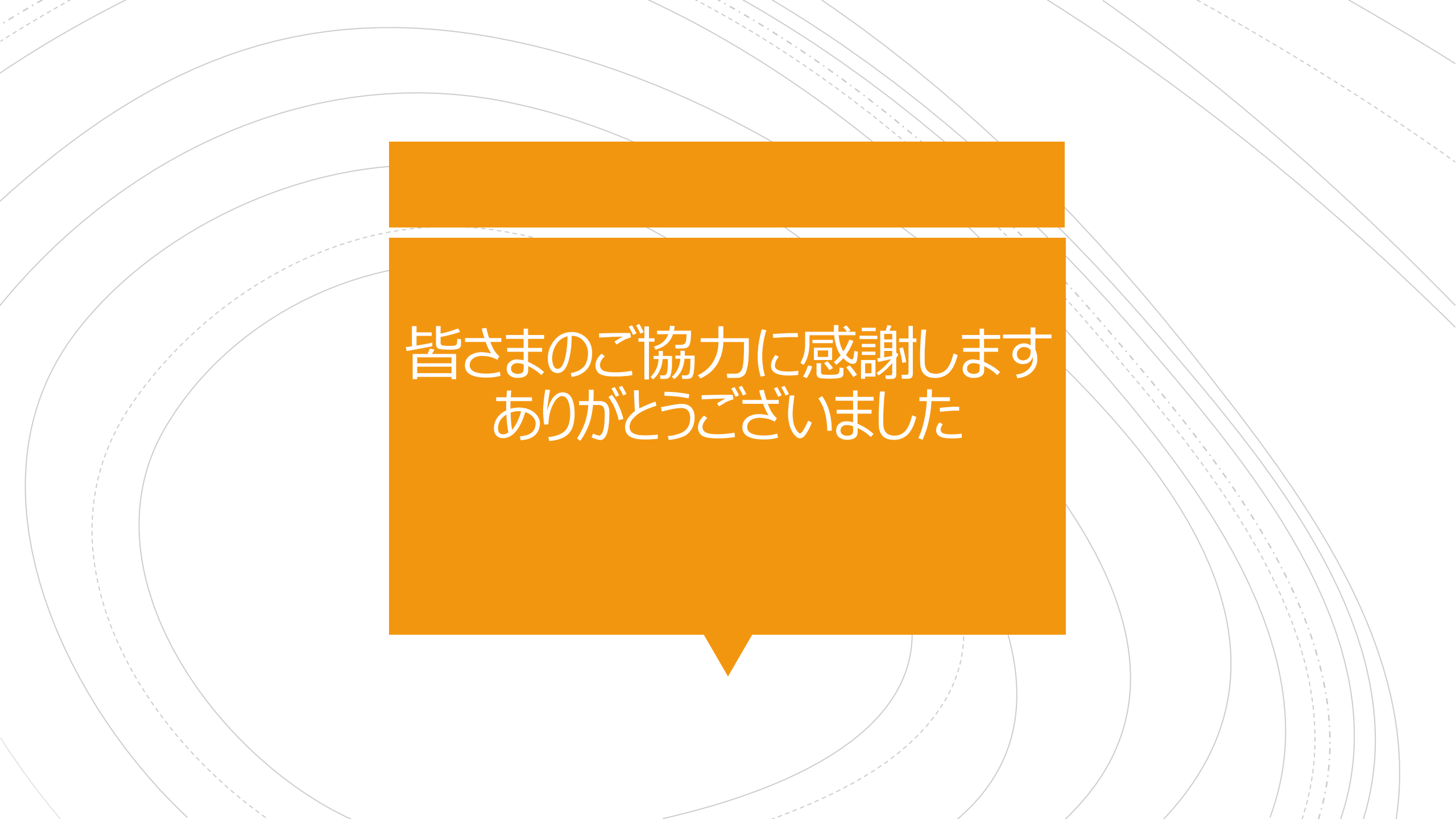
2. 訪問看護サービスの質向上のための研修事業を実施する。

認知症予防（コグニサイズ）や感情マネジメント等、実務とメンタルケアの両面から研修を実施し、特に実務スキルの研修では現場の即戦力向上に寄与できる内容であった。

3. さまざまな分野の専門性の高い看護師によるコンサルテーションを通して、人材育成に寄与する。

小児看護専門看護師や皮膚・排泄ケア認定看護師、訪問看護事業所管理者の協力により、臨床および経営に関する計4件のコンサルテーションを実施した。

これらの支援は、画一的な研修ではカバーしきれない個別の課題に対し、対話を通じて、現場が抱える具体的な懸念を整理する機会を提供した。

The background features a series of concentric circles in light gray, some solid and some dashed, creating a ripple effect. In the center, there is a large orange speech bubble with a white border and a small tail pointing downwards.

皆さまのご協力に感謝します
ありがとうございました